

書く!描く!撮る!子どもたちが作るローカルマガジン

こどもローカルマガジン
COLOMAGA project
コロマガプロジェクト 伊豆市



KURURA

Vol.9
2021

未来の伊豆をデザインする
子ども達とプロが創る情報誌

今回のテーマは

特集1 ●●だけじゃないIZU
LOQUAT ロクワット
TORUS トーラス
観音洞の大岩

特集2 やっぱ自然が好き!
CHAKI CHAKI チャキチャキ
パックラフト体験
ツリークライミング
ファーマーズヒル
ダルシン



こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト
伊豆市 project

KURURAは伊豆市の子ども達と様々な分野で活躍するプロ達との
コラボレーションにより制作された地域のガイドブックです。



未来の伊豆をデザインする子ども達とプロが創る情報誌

こくみん共済 COOP 地域貢献助成事業
支援：アーツカウンシルしずおか

くら KURURA

2021年12月発行 発行人 KURURA 制作実行委員会 〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保1304 1F(伊豆市若者交流施設《9izu》内)

KURURA

2021.12 / vol.09

タイトル/題字 海聖・崇翔・翼・陽大
KURURA Vol.1 メンバー
伊豆市立修善寺南小学校卒業生

今年のテーマは



おしゃれなカフェや素敵な旅館は各地にあります。だけど、伊豆には「それだけじゃない」"+α"があります。伊豆の自然や風土、歴史が生み出す「〇〇だけじゃない」スポットをご紹介します！



イラスト/ひなた



イラスト/零羽



コロマガは「ESD」の実践活動

2013 年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りをもち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」が ESD(Education for Sustainable Development) と呼ばれているものです。同じ頃、2015 年国連サミットで世界のリーダーが集まって 2030 年までの目標を定めました。これが SDGs(Sustainable Development Goals)といわれる 17 の目標と 169 のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために産・官・民・学のあらゆる機関を上げて取り組んでいます。そしてこの SDGs を達成するためのエンジンが ESD であるといわれています。

子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。

ESD-J 理事 大塚明



KURURA の詳しい活動についてはこちら
www.izukurura.com



インスタやってます！
www.instagram.com/izuni_kurura

特集1 ●●だけじゃない IZU

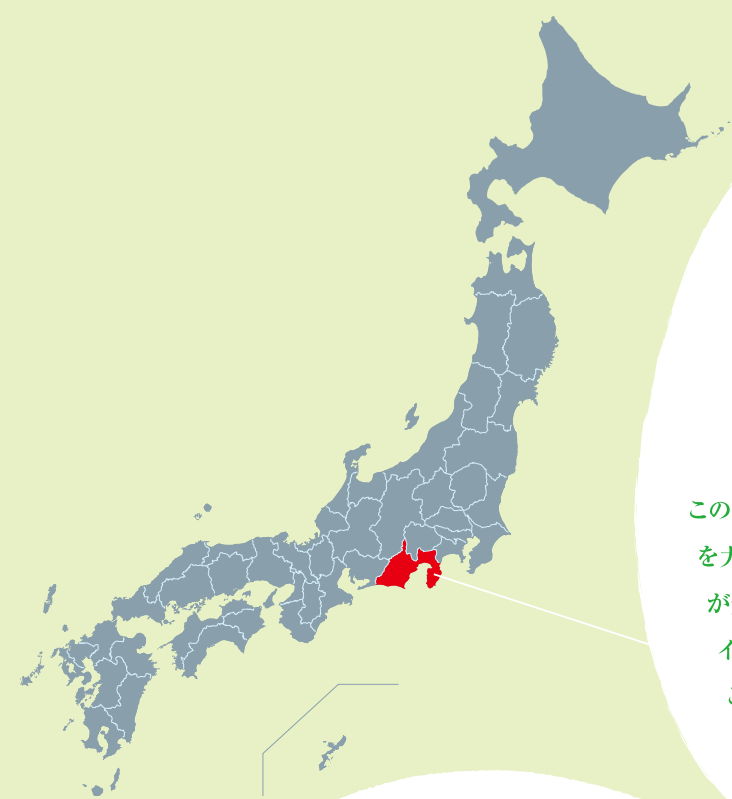
- 04 | 市外の人にも大人気！ ロクワット
「新しい」だけじゃない LOQUAT
- 06 | 泊まれるだけじゃない トーラス
伊豆に移住したくなる魅力満載のTORUS
- 07 | いやされる だけじゃない 観音洞の大岩

特集2 やっぱ自然が好き！

- 08 | 透き通る川が見えるテラスが人気！ チャキ チャキ
和菓子と抹茶が美味しいカフェ CHAKI CHAKI
川遊び最強アクティビティ パックラフト体験
- 10 | 自然を全身で感じる体験 ツリークライミング
伊豆の新スポット
- 11 | 田んぼを使ったキャンプ場 ファーマーズヒル
豊かな自然の中で
自分だけの陶芸 中伊豆窯ギャラリーダルシン
- 12 | COLOMAGA Summit Vol.1 レポート
- 13 | Izu City Guide Map
- 14 | 編集後記
- 15 | COLOMAGA Project の活動について



イラスト/零羽



COLOMAGA 伊豆市版



「伊豆の魅力を伊豆人に届けたい。」
をコンセプトに活動しています。

この冊子は、伊豆市の子どもたちが、自分たちの住んでいる町を大人たちと一緒に、調べて、聞いて、まだ地元の伊豆人たちが気づいていない伊豆の魅力をもっと伝えようと思い、クリエイターと一緒にコラボレーションで創った伊豆の情報誌です。この冊子の名前「KURURA(くるら)」は、来るよね？来るでしょ！を表す伊豆地方の言葉で、vol.1制作時の、小学5年生の男の子たちのチームが名付けてくれました。

こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト project

わたしたちは、
このコロマガプロジェクトを通して
こんな社会を実現していきたいと
思っています。

KURURAでは、一緒にローカルマガジンを作ってくれる小学校4年生から中学3年生までの子どもで、文章を書いたり、絵を描いたり、写真を撮ったりするのに興味がある子を募集しています！！

一緒にやりたい子は、制作実行委員会まで連絡ください！

連絡先：izukurura@gmail.com

ふるさとの良いところを知って自慢できる子どもたちが増えること

ふるさどに住みたい、ふるさどで働きたいと思う子どもたちが増えること

ひとりでも多く自己肯定感が高い子どもたちが増えること

子どもたちの創造性・独創性を育み活かす機会が増えること

「デザインの力」を理解できる子どもたちが増えること

地域コミュニティに関心を持つ大人と子どもたちが増えること

大人と子どもが一緒に何かを創り出す関係が増えること

こんなことが増えれば、日本の未来は
とても明るい！



天井がきれい！



チョコミントの
ミントの葉っぱが
入っています

スイカ味！
スイカよりも
本当のスイカみたい。

INFORMATION

【LOQUAT ロクワット】
伊豆市土肥 365
TEL: 0558-79-3170
営業時間: タケルクインディチ(イタリアンレストラン)
11:30~14:00(ラストオーダー)
18:00~20:30(ラストオーダー)
サンティ(ジェラート&ベーカリー)
10:00~17:00(日~木 16:00終了)
※シーズンによって、閉店時間が異なる場合がございます。
定休日: なし



かんぱーい！

取材/びわっと 文/明瑛・千伶 写真/百叶・他 イラスト/七海

ただ「美味しい」
だけじゃない

濃厚で香ばしい匂いはドアが開いたとたん私たちを包み込みました。中に入るとすぐ右にあるSANT-Iさんです。パンとジェラートが楽しめるここでは、静岡の果物や駿河湾の魚で季節の食材を味わってみたいということから、季節ごとに違ったメニューが楽しめます。

私たちはジェラートをなんと二種類食べさせてもらいました！取材当時の八月にはスイカやパッションフルーツといったさわやかなフルーツ味があつたりと、とても迷いました。私は一番人気で、伊豆産最高級のピスタチオの味と、静岡県のパッションフルーツを使ったパッションフルーツミルク味を注文。どちらも初めましてでしたが、まるやかなピスタチオと甘酸っぱいパッションフルーツがおいしかったです。ダブルだと一つのカップに半分ずつのついでるので、混ぜるとまた違った味を楽し

チーズがのびるー



しめました。種の食感はくせになります！

パンは家族が買ってきてくれたのでチョコが入っているデニッシュのようなものを食べたのですが、夜でもサクサク、しかもチョコもびっしりでおどろきました。私は濃厚なパンは苦手なのですが、濃厚さと甘さが絶妙で私の大好きな味でした。駿河湾のシラスを使ったパンもあり、バリエーション豊富！SANT-Iさんの作るジェラートとパンは地元の方を始め、たくさんの方に愛されています。私ももう一度取材の時に戻りたいです。

レストランのお食事も忘れられません。ふんわりとしたピザに、鱈の風味豊かなピスタ。素材本来の味を大切にしている、という言葉が一口で分かる程で本当におどろきました。レストランの方でも地元のものを使用して、土肥になったイタリアン料理を作り、地元の方からとても喜ばれています。地産地消をしながらも本格イタリアンが味わえる、本当にすごいです！

どれもお値段は少し高めですが一度食べたら通いたくなってしまう。人生で一度は食べておきたいもの達、ですよ！



市外の人にも大人気！
『新しい』だけじゃない

ロクワットは歴史ある蔵をリノベーションして作られました。昔からあるものの良さはそのままに、カフェ、宿泊、レストラン、エステが楽しめる複合施設に生まれ変わった新たな土肥のスポットを紹介します。

「LOQUAT」は英語で「びわ」のこと。土肥地区は、全国でここにしかない「幻の白びわ」と呼ばれる貴重なびわの産地です。

LOQUAT
ロクワット

私はこの蔵を見たとき古い建物なのに、新しいものとマッチしているなと思いました。

今回取材したLOQUAT(ロクワット)さんはレストラン、宿泊施設、エステがある複合施設です。その外観はいかにもお屋敷で、それもそのはず、鈴木二平さんのお屋敷を改造してLOQUATにしているからです。その歴史は百年から百五十年。屋敷の歴史は三百年もあります。私が一番印象に残ったのは二の蔵と三の蔵という泊まれるお部屋です。外見はいかに蔵なのですが、普通のホテルとはまたちがった、新しさがあつても古さを感じました。すぐ外のウッドデッキには、かけ流しの温泉があり、夜には星空が見えます。部屋にはレコードとレコードプレーヤーがあり、部屋の雰囲気と相まって非日常を過ごせます。

この部屋には普通の宿泊施設とは違い、備え付けの大型テレビがないのですが、それはテレビがないと現実に戻されて非日常ではなくなってしまうからです。



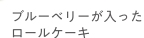
鈴木家に伝わる古い金庫もインテリアとして

LOQUATは土肥にできた新しい場所ではなく、昔からのものを生かした場所です。古いようで新しい場所での体験をぜひしてみてください。

二の蔵と三の蔵のちがいは、二の蔵は1階建てで写真でどんな部屋かわかりやすい。三の蔵は2階建てで二の蔵より広く、写真ではどんな部屋かわかりにくいというちがいがあつます。

二の蔵と三の蔵があるということは、一の蔵もあります。一の蔵はエステです。入る前の階段には昔の動物の足跡があります。ドアには鈴木家の家もんがあります。少し欠けたりしていますが、味を出すためにあえてこのままにしています。夜になるとバーになって雰囲気が変わっておどろく人もいるそうです。





食べると思わず笑顔になっちゃう♡

低糖質とは思えないくらいのお味
しきで、スポンジも切るとつぶれ
てしまうほどのフワフワでケーキ
が倒れてしまうほどでした。私も
またほかのケーキなどを食べたい
です。
最後に島ちゃんはこんなことを
言っていました。
「今はコロナでどこかへ行くことは
できないけれど地元の魅力をもつ
と発信し、TORUSや修善寺の街に
ぜひ来てほしい。」
修善寺に来てもらって、街の良
いところをたくさん知ってほしい
です。

INFORMATION

【TORUS トーラス】
伊豆市修善寺 902-3
TEL: 080-6690-4869
営業時間: 9:00~16:00
定休日: 月・火・金



トーラス
TORUS

泊まれるだけじゃない
伊豆に移住したくなる
魅力満載のTORUS



人気の観光地、修善寺温泉街のメイン通りから
一步入った所にあるゲストハウス。
名物オーナーのパワーと、体にやさしいおむすびや
スイーツでエネルギーチャージしちゃいましょう!

取材/MARKS 文/葉奈 写真/明音・瑞紗・他 イラスト/翠羽・瑞紗・美翠

修善寺の温泉街にカフェなどが
あるゲストハウスがあります。そ
れが「TORUS」です。この TORUS
はゲストハウスだけではなく、『お
むすびカフェ』というカフェもやっ
ています。そんな素敵な TORUS を
紹介します。
TORUS は伊豆半島で人力車を引
いていて同時に TORUS のオーナー
でもある島川誠さん、通称人力車
の島ちゃんと、おむすびカフェ担
当の大西美由貴さんの2人で成り
立っています。2人とも以前は東
京にいましたが、3年前伊豆に移
住してきました。ちなみにお店の
名前、「TORUS」とはエネルギーの
集まりという意味だそうです。
お話を聞く中で疑問が2つ浮か
び上がりました。一つ目は、どう
して伊豆で TORUS を経営している
のか、です。島ちゃんによると修
善寺温泉は憧れの地で住みたい街



として人気だからだそうです。2
つ目はなぜ旅館ではなくゲストハ
ウスにしたかです。旅館はたくさ
んのお客さんの接客があり大変で
すが、ゲストハウスは来る人が少
ないぶん1組のお客さんにたくさ
んの時間が使えるのでゲストハウ
スにしたそうです。
TORUS には、森・松・竹・梅の
4部屋があります。その部屋それ
ぞれで広さや置いてあるものが違
います。実際に行ったらときはデザ
イナーの方が泊まっていたお話を
聞くと、「とにかく自然がたくさ
んで窓を開けると緑が見えてセミ
の音が聞こえてきたりしてリラッ
クスできる」と言っていました。
部屋によって設備や間取りがち
がってどの部屋も素敵でした。

さてゲストハウスから少し離れ
ておむすびカフェを紹介します。
おむすびカフェで使われている
水・米・海苔などはすべて伊豆半
島のものを使っているそうです。
お米などの農産物は無農薬のもの
を使っているそうです。おむすび
カフェでは土・日曜日に低糖質の
スイーツを売っています。なぜ低
糖質のスイーツなのかというと、
このスイーツを作っている方の子
どもさんが持病があり低糖質でな
いと食べられず、旅行先で一緒に
カフェに入れなかったからだと
です。

「鬼滅みたいな写真が撮れる!」
というわさのフレーズにひかれ
て観音洞の大岩へ取材に向かった。
修善寺を出発し、独鈷(とっこ)
の湯公園を抜け小道に入る。する
と、人の声や車の音が聞こえなく
なり、鳥のさえずりや流れる水の
音が聞こえた。涼しさを感じた先
に、その岩は突然現れた。まるで
トトロが住んでいる森に迷い込ん
だみたいだった。大岩の表面はき
れいな苔のじゅうたんが広がり、
その上には数々の根がむき出しに
なっていた。
伝説によると、約千二百年前、
弘法大師が観音様の神通力をかり
て大岩を割り、その間を通ると力
が宿るといわれているとのこと。
取材班の感想は、写真に比べて
実物は大きくてびっくりした。コ
ケがたくさんあった。岩の間は根
が生えていたり枝が落ちていたり
して相当昔のものなんだと思った、
など。
訪れた人によって感じ方が様々
で不思議なスポットだ。

いやされるだけじゃない

観音洞の大岩



「独鈷の湯」を開いたという伝説の、弘法大師がいるような
気がしました。

気分は、あの人気漫画の主人公!

INFORMATION

【伊豆市観光協会 修善寺支部】
伊豆市修善寺 838-1
TEL: 0558-72-2501



岩を切った
気分になれる?

取材/MARKS 文/葉奈 写真/明音・瑞紗
イラスト/美翠



こだわりのちろんとこに



おいしいお抹茶と風景
最高～!



気持ちの良いテラス席!

INFORMATION

【CHAKI CHAKI】
伊豆市吉奈 5-1
TEL : 0558-85-0888
営業時間 : 11:00 ~ 15:30 (LO.15:00)
定休日 : 日・月・火

透き通る川が見えるテラスが人気!
透き通る川、太陽にあたり光る魚、そんな豊かな自然に囲まれているカフェ「CHAKI CHAKI」。そんなCHAKI CHAKIの人気のひみつは、自然に囲まれて、透き通る川が見られるテラスです。お客様の9割がテラスで楽しんでます。
CHAKI CHAKIといえば和と洋を合わせたカフェで、ふつうのコーヒーとは違い気軽に抹茶を楽しめるカフェです。それに和菓子も人気です。ふつう和菓子はプロの人のところへ修行に行くのですがオーナーはとてもしごい独学で学んだそうです。また和菓子であんこが嫌だから食べない、という人もCHAKI CHAKIの和菓子なら大丈夫です。あんこも甘さひかえめで、食べやすい味になっています。私もじっさい食べてみたら、甘いけれどそんなに強く甘みがなくちょうどいい味でした。それに、かき氷やドリンクなどいろいろ

な食べ物があります。
それにCHAKI CHAKIは、お皿や家具や花など小物にも力を入れています。お皿はもようがなくてきれいな白色でした。それは和菓子が目立つようになっていたり、家具は昭和のものを使ったり古民家からもらったり、花も季節によって変えたりして一つ一つに力を入れています。
ところで、なんで『CHAKI CHAKI』と言ったかフェになったのでしょうか。その理由は、もともとお茶の茶という字を入れたくて見つけた言葉が「茶気」という言葉だったそうです。その言葉にしたのは、もう一つ理由があったそうです。それは、CHAKI CHAKIに行くという意味で「茶気」と言っていて、手軽に来てほしいという思いが詰まっていた。でも漢字だとちょっとかたいなと思って、ローマ字にしたそうです。
それにCHAKI CHAKIのすいところ、メニューを早くかえているそうです。色ちがいしたり、秋だから菊を作ったりと、何回も来たら違うメニューが食べられるというすごいところがありました。

あと、CHAKI CHAKIは、自然に囲まれているため、草むしりなどが大変だけれどもお客様がリラックスして過ごせるようにがんばっているそうです。CHAKI CHAKIは、一つ一つを丁寧に作っています。
そのCHAKI CHAKIさんは、いろいろな人に静岡産の抹茶を気軽に飲んでほしい、それに和菓子の良さを知ってほしいと言っていました。
そんな、自然に囲まれて、ゆづがに心をいやせる、CHAKI CHAKIのふんいきを皆さんぜひ体感してみてください。

笑顔のオーナーさんとお店の入り口



CHAKI CHAKI

抹茶が美味しいカフェと和菓子と

取材/CHAKI CHAKI 文/朱哩 写真/七緒・善他 イラスト/結夏・楓



伊豆には海も山もある!

どれも楽しいけれど、
自慢の1つは

すごく透明できれいな川。

川を眺めながらのんびりするもよし、

ザブザブ入って遊ぶのもよし。

あなたはどちらが好きですか?



INFORMATION

【バックラフト体験】
アドベンチャーサポート
伊豆市修善寺 75 ドットツリー修善寺 PJ-G
TEL : 0558-99-9105



バックラフト
体験

川遊び

最強

アクティビティ

取材/SNA 文章/の夏 写真/和嗣 他 イラスト/萌花



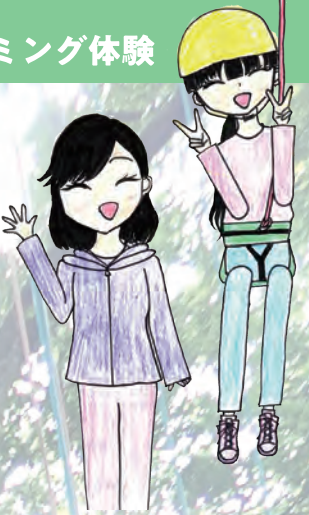
「何か外でリフレッシュしたい!」
「自然の中で思いっきり遊びたい!」
と、思っている方はぜひバックラフトを体験してみてください。天気が良いとそのまま川にダイブして泳ぐことだってできます。夏のアクティビティにはぴったりだと思いませんか。気になった方は今回お世話になった『アドベンチャーサポート』を検索!

さあ、そしていよいよ川へ!今回体験した川は、狩野川というところ。水がめちゃくちゃきれいで、生き物もたくさん!自然にあふれた狩野川は、下って行ってもずっときれいな川が楽しめます。ラフトをこぐのに慣れてきたころ、いよいよ流れの速いところへ!石がゴロゴロあって、急な流れはスリル満点!うまく石に引かからないように...と頑張って、なかなか難しいです。だけど、上手にすり抜けられたときはとても気持ち良いし、めちゃくちゃ楽しいです!

で「かばんにバック(詰めること)ができるラフトボート」ということでバックラフトという名前がついているそうです。かばんに詰めることができるから、旅先でもできるそうですよ。

荷物を入れる膨らむラフトなので「バックラフトの『バック』は、荷物を詰めるなどの意味があり、空気を膨らませるラフトなので

川遊びって...楽しいですよ!そんな楽しい川遊びをもっと楽しくできるのが、今回体験した「バックラフト」です。一人用のラフトで川を下るアクティビティで、中学一年生から体験することができます。



「またみんなで遊びたい！」と叫びたくなる楽しい体験ができる場所、それは天城ゆうゆうの森で行なわれている『ツリークライミング』です。

現地に着くと一番最初に目に入るのはいくつもの縄やハンモックが、見上げるほど高い木の枝にぶら下がっている姿。

ツリークライミングとは

ロープや安全ベルトを使い木に登り、自然を全身で感じる事ができる体験のことです。ただの木登りではなく、ヘルメットをかぶり、体に安全ベルトを着けて、ロープに自分の体を固定します。木の上に登るにはフットロープ(足をかける輪)に片足をひっかけて、自分の体を尺取虫のように使って登っていきます。

ロープの結び目が握りこぶしのようになっているので、片手でそこを引き上げると同時に、フットロープに体重をかけ、体を伸ばします。次にフットロープだけを上に引き上げ、再び足を掛け、体を伸ばす。これを繰り返すことでロープだけで木の上に登っていくことができます。

伊豆市で体験できるツリークライミングは、NPO法人伊豆こどもミュージアムのみなさんが、天城ゆうゆうの森で開催しています。とても高い木の上に登るので、はじめは筋力のない私が登れるのか少し不安がありました。でも、伊豆こどもミュージアムのみなさんがしっかりと安全ベルトを着けてくれたり、ていねいにロープの扱い方や登る方法を、見本を見せながら教えてくれたので、自分のペースで安心して体験ができました。

印象に残ったのは、ツリークライミングを始める前に木にあいさつをし、終わったらお礼をしたことです。ツリークライミングを通じて、木と友達になり、木や自然を大切にすることを養ってほしいという気持ちがとても感じました。木の上から見る景色は、自分で登り切ったという達成感もあり、いつもより緑が輝いて見え、ページをご覧ください。



こんな高い木に登れるよ!

た。木の上で聞いた川のせせらぎの音や、ツリーポート(ハンモック)に、ごろんと横になり、肌を感じた森の空気がやすらぎ、少し眠ってしまいました。そして、お昼ごはんは、ロープで木の上まで届けてもらい、地上十メートルのランチタイムでした。この時チームの友達とおしゃべりしながら食べたお弁当の味は忘れられないものとなりました。ツリークライミング体験は、小学生以上の親子が体験できるようなので、ぜひ事前に予約をして参加してみてください。詳しくは伊豆こどもミュージアムのホームページをご覧ください。

INFORMATION

【伊豆こどもミュージアム】
天城ゆうゆうの森
TEL: 090-8956-7292



ツリークライミング
— 自然を全身で感じる体験

取材/SNA 文/百々花 写真/優樹 イラスト/ひなた

森は私たちの身近にあるけれど...
こんな一味違う楽しみ方もできるよ!

伊豆の新スポット
田んぼを使ったキャンプ場

取材/SNA
文/和朝
写真/のの夏・優樹
イラスト/萌花・ひなた・百々花



手作りの
ツリーハウス!

駐車場に入ると、「ご自分で造ったという受付の建物がお出迎え。今年からキャンプ場を始めた野性味あふれる「旧かたつむり」ことファーマーズヒルさんについて紹介します。

十年前から石窯ビザ焼き体験をされていて、それが一番人気だそうです。ちなみに石窯は、はちくぼ山の溶岩を利用して、トイレも水道も自分で造ったそうです。ほかにもツリーハウスを造ったり、一時期は例の石窯を使ったパン作りにハマって受付で売ったりしていたとのこと。聞いたときは、「うわーすごい 自由すぎる...」と思いました。オーナーのポリシーは「自分で作る」。それも地元の素材で。そのように思いと地球温暖化対策に貢献しようという思いから敷地内で新用のクヌギを育てています。



もともと田んぼだった敷地はふわふわ!水路もある。



これが噂の石窯!ビザが焼けます。



薪割りに挑戦!

「田んぼを使ったふわふわしたキャンプ場」ということで実際に来て踏んでみると、野芝が沈み、離すと元に戻りました。キャンプサイトは田んぼの区画のままで田んぼの時の名「こり」として水路があり、キャンパーに喜ばれる水場となっているそうです。

なぜ田んぼを使ってキャンプ場を造ったのでしょうか。それは使われない田んぼの再活用、そして地域を活性化させたいからだそうです。

キャンプ場には、自然のままの梅の木もあります。伊豆の大自然とオーナーさんの思いを感じにファーマーズヒルに来ませんか? さっと、悩みを忘れて楽しめますよ。

INFORMATION

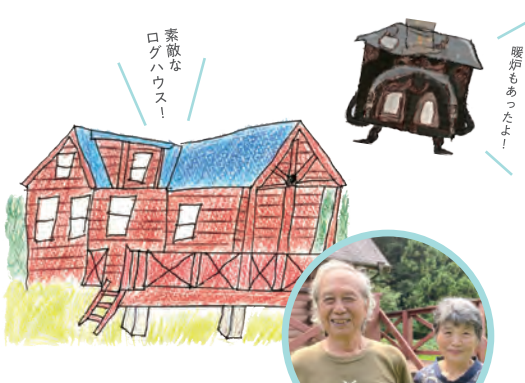
【ファーマーズヒル】
伊豆市湯ヶ島 892-66
TEL: 0558-85-2104
090-1293-5258
営業時間: 石窯ビザ焼き体験
11:00~14:00
キャンプ
15:00~翌10:00
いずれも要予約
定休日: 月・火・水

中伊豆窯ギャラリーダルシン
豊かな自然の中で
自分だけの陶芸

取材/CHAKI シン
文/結夏
写真/七緒
イラスト/善・楓



「ミンミンジー」セミの声がひびきわたる森の中。私たちのエクスパーンチームは、中伊豆窯ギャラリーダルシンというところに取材に行きました。ここで陶器を作っている人は山口廣海さん。五十年前、東京で化学者だった廣海さんは、「自然豊かなところで子どもを育てたい。」と思い、伊豆市の中伊豆エリア、上白岩に移住したそうです。その時子どもは2才と0才だったそうです。伊豆市上白岩に移住したもう一つの理由は、同じ中伊豆エリアにある中伊豆温泉病院に知り合いがいて、遊びに行ったら桃源郷のようだったかららしいです。



素敵な
ログハウス!

暖炉もあったよ!



おいしいー

廣海さんの一番のこだわりは、誰も見たことのない自分だけの陶器を作ることです。廣海さんは例えば、花びんをこわれた家と思ひ、穴を作り、それを窓だと思っています。そういう考えは私にはなく感心しました。

ダルシンを取材し、自分は自分でいいということがわかりました。奥様の八千代さんが陶芸教室をやっているの、皆さんも行ってみてください。



この窯でお皿などを焼成します!

INFORMATION

【中伊豆窯ギャラリーダルシン】
伊豆市上白岩 1573-2
TEL: 0558-83-0402
090-9888-3088
営業時間: 10:00 ~ 18:00
定休日: 不定休

Izu City Guide Map

伊豆市

標高1,000メートルを超える天城山から伊豆で一番大きな川、狩野川が流れ修善寺・中伊豆・天城・土肥のすべての地域で温泉が湧き西は駿河湾にも面している私たちのまち、伊豆市



伊豆市ガイドマップ | 地図製作者 七緒

1 LOQUAT ロクワット
P04
伊豆市土肥 365
TEL : 0558-79-3170

2 TORUS トーラス
P06
伊豆市修善寺 902-3
TEL : 080-6690-4869

3 観音洞の大岩
P07
伊豆市観光協会修善寺支部
伊豆市修善寺 838-1
TEL : 0558-72-2501

4 CHAKI CHAKI チャキチャキ
P08
伊豆市吉奈 5-1
TEL : 0558-85-0888

5 パックラフト体験
P08
アドベンチャーサポート
伊豆市修善寺 75 ドットツリー修善寺 PJ-G
TEL : 0558-99-9105

6 ツリークライミング
P10
体験場所：天城ゆうゆうの森
NPO 法人伊豆子どもミュージアム
伊豆市市山 33-11
TEL : 090-8956-7292

7 ファーマーズヒル
P11
伊豆市湯ヶ島 892 - 66
TEL : 0558-85-2104
090-1293-5258

8 中伊豆窯ギャラリー
ダルシン
P11
伊豆市上白岩 1573-2
TEL : 0558-83-0402
090-9888-3088



COLOMAGA Vol.1 report

子どもローカルマガジン COLOMAGA Summit コロマガサミット Vol.1 レポート



日本全国に広がりつつある「COLOMAGA project」の参加者が年に一度集まる交流会「COLOMAGA サミット」を今年も開催いたしました！

文/コネクトチーム

伊豆市、伊豆の国市、沼津市西浦内浦のメンバーが伊豆市内の会場に集まり、山梨県北杜市、長野県安曇野市と中継をつなぎました。広島市&甘日市市と文京区からは事務局の方々も参加しました。

異なる地域のメンバーが同じグループになって交流します！
最初はどきどき！

今回もオンラインで各会場をつなぎました！

昨年は初めての試みとして慣れないZoomなどを使いながらも「サミットゼロ」を開催しました。普段交流の無い他の地域の参加者と集まる貴重な機会となったため、今後も継続していこうとコネクトチームが主体となって準備を進め「サミット vol.1」を開催することができました。

今後に向け、さらにパワーアップした活動ができるようがんばります！



イラストを生かした「絵しりとり」、写真や発想力・表現力が試される「インスタ投稿対決」、取材スキルがカギとなる「Yes/No ゲーム」など冊子づくりのために学んだスキルを活かしたレクリエーションを企画しました。全員がその場に集まらない状況でも盛り上げられるような企画を考えました。

参加した子ども編集部より

コロマガサミットは、全国の同じ活動をしている人たちが繋がれます。それぞれの地域の良さを企画に活かしたりしてすごくいい会だったなあと思います！今回は第1回。これから第2回、第3回...と長く続けていける活動になるように受け継いでいきたいと思っています！

中学2年生の夏



他の地域の良さ、KURURAとはまた違う冊子の様子が分かり、KURURAにとって刺激になったんじゃないかと思っています。会場に来てくれた子達とも交流ができ、お互いが距離を縮めるきっかけにもなりました。広島が動き出すことも楽しみです！

中学1年生千伶



今回のサミットでInstagramを使うなど新しいゲームができ、とても楽しかったです。私は今回子ども編集部として下の子達のことを支えられたと思います。普段話をしない子と仲良くなれてとても嬉しかったです。他の地域の活動を知り、楽しそうだな、行ってみたいなと思いました。それぞれの魅力が伝わったいい機会だと思います。とても楽しくあっという間に終わってしまいました。来年も行えたらいいなと思います。

中学2年生萌花



今回のサミットはゲームがとても面白かったです。特に写真で対決するゲームでは色々な写真が見られて、他のチームがどういった写真を撮ったのかとてもワクワクしながらやりました。本当に面白いアイデアの写真がたくさんあって、色々勉強になったし見ていてとても楽しかったです。

中学2年生七海



こどもたちの創造性を育てて 地域をつなげる活動です。

創造力は生きる力。

楽しんで創ったものは社会のためになり、
 地域のつながりを強くします。



「COLOMAGA Project(コロマガプロジェクト)」は、こどもたちが自分の住む「まち」取材し、プロのクリエイターと一緒に「まち」のローカルマガジン(地域情報誌)を作るプロジェクトです。現在、東京都、静岡県、山梨県、長野県、広島県の5県7エリアの地域が参画しており、地域を超えた交流も行っています。

自分たちが住んでいる「まち」を知るためにまず、自分が興味のある人や場へ出向いて、知りたいことを取材します。つぎに、その情報を自分らしく発信するために、プロのクリエイターからノウハウを教わりながら、写真を撮ったり、イラストを描いたり、文章を書いたりしてカタチにしていきます。最後に、みんなの集めた「まち」の情報を1つの冊子にまとめることで、「COLOMAGA」が完成します。

こどもたちが世代を超えて出会う人と交わすコミュニケーションは、かけがえのない思い出や体験となります。「まち」の魅力を知れば知るほど、自分の「まち」が好きになり、自分の居場所になっていく。「まち」のために何ができようかと考える人が一人でも多く育って欲しい。「COLOMAGA Project」はそのような想いで活動しています。

その他の地域の COLOMAGA project



東京都文京区「MITAMIYO!!」
 静岡県伊豆の国市「IZUCCO」
 山梨県北社市「水と山 こども情報局」



静岡県沼津市内浦・西浦「うらうち」
 長野県安曇野市「未定」
 広島県広島市・廿日市市「未定」



「この活動いいね」と思ってもらえたら、ぜひ応援をお願いします！

この活動は有志による非営利事業です。

【法人の方へ】

次世代を担う子どもたちの育成は、CSR活動やSDGsの推進の一環にもなり、企業としての社会的な責任を果たすことができます。ぜひご相談ください。

【個人の方へ】

自分のくらす「まち」を好きになり、故郷を自慢できる子どもたちを応援するこの活動の応援をお願いします。

ご寄付の振込先

静岡銀行 修善寺支店 普通口座 0446730
 口座名義：KURURA制作実行委員会
 連絡先: izukurura@gmail.com

お振込みの場合はお名前と連絡先をメール等でお知らせください

※応援特典

- ・冊子とホームページにお名前を掲載します(ご希望の方)
- ・子どもたちからお礼の手紙をお送りします
- ・冊子の完成発表会にご招待します

KURURAのOBに講演の機会を！

活動に参加した時には、小学生だった子どもたちは、今は高校生・大学生になり、それぞれの分野で活動を続けています。そんな彼らの自分の中の変化や地域に対する思い、活動への思いをみなさまの前で話す機会をいただければ嬉しいです。

COLOMAGApjの活動をご自分の「まち」でも。

全国あちこちの「まち」でこの活動ができたら素敵だと思っています。

やってみよう!という方は、COLOMAGA事務局から企画・告知・集客・取材・制作・デザイン等についてノウハウを提供し、サポートいたします。

お気軽にご相談ください。

編集後記

子ども編集部

「高校生になっても KURURAに携わりたい!」そんなメンバーの思いから2017年に子ども編集部がつくられ、編集長は4代目となりました。子ども編集部では、「子ども編集会議」を開いてテーマや取材先の決定、取材のサポートや講座の司会進行を行っています。vol.9では、他の地域と交流を行う「コロマガサミット」も行いました。

〈メンバー〉

大石桜子(編集長)・鈴木ちひろ(副編集長)・鈴木みお・山口汐風・岡田七海・熊川萌花・高橋の夏・永田千怜



コネクトチーム

コネクトチームは子どもたちの身近な存在として、子ども編集部と実行委員会を「コネクト」する(つなぐ)という思いを持ち発足して2年目を迎えました。現在は伊豆周辺の大学生4人で活動し、オンライン会議でコロマガサミットの企画、冊子のテーマや取材先の話し合い、講座の準備などをしています。

KURURAや COLOMAGA Projectの発信をすとも、これからも KURURAの制作により深く関わっていきたくと思っています。

〈メンバー〉

安池凜・内田陽仁・小林舞・高橋こなつ



KURURA 制作実行委員会

代表



こども未来塾 川口敦
 特定非営利活動法人 NPO サプライズ 高橋いづみ
 こども未来塾 新田はるみ
 元天城中学校校長 大塚明
 COLOMAGA Project 現職 浅井由剛

制作：KURURA 制作実行委員会
 特定非営利活動法人NPOサプライズ
 こども未来塾
 クリエイターチームカラフル

デザイン：株式会社カラーコード【浅井由剛・黒澤夏子・為辻京子】

イラスト：【表紙】雫羽 【裏表紙】七海

後援：伊豆市、伊豆市教育委員会
 ESD-J(NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議)

問い合わせ：KURURA 制作実行委員会事務局
 〒410-2407
 静岡県伊豆市柏久保 1304 1F 伊豆市若者交流施設 9izu 内
 TEL 0558-99-9120

サポートスタッフ



内田智彩
 櫻井美鈴

協力：9izu・The Crank・ホテルラフォーレ修善寺・ITJ BASE
 いさぶや印刷工業株式会社・西島基弘(株式会社アーティストックス)
 日景知子・坂ノ上和子・根岸涼子・田足井美帆・鈴木奈仁子
 COLOMAGApj 各地域版
 *順不同・敬称略

協賛：うさぎ薬局修善寺店・自然療法サロンミモザ・修善寺 Cotori
 鈴木しいたけ園・滝尻わさび園(株)にしはらグループ・堀江歯科
 マリンステーションマーボウ
 *五十音順・敬称略

サポーター：【ご寄付いただいたみなさま】
 小澤佑太郎・坂ノ上和子・波多野康隆 他匿名のご寄付者の方々
 ※五十音順・敬称略 2020年11月21日～2021年12月5日

こくみん共済 coop 地域貢献助成事業
 支援：アーツカウンシルしずおか

アーツカウンシルしずおかとは
 「アーツカウンシルしずおか」は、まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など、社会の様々な分野と文化芸術を結び付け、社会課題への対応や地域の活性化を目指す住民主体の創造的な活動を支援します。